

「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」
(企画案)

団体名： 一般社団法人 日本ヒーブ協議会

| 項目 | 企画内容 |
|-------|--|
| 趣旨・目的 | <p>日本ヒーブ協議会（以下協議会という）は、企業の消費者関連部門等に働く女性が「生活者と企業のパイプ役」としてその双方を理解したうえで業務遂行することを通じ、企業の健全な発展に寄与するとともに、会員（女性）の能力向上を目的として活動している会である。協議会会員が活躍する分野は、お客様対応、商品企画・開発、広報、調査・マーケティング、CSR、経営企画、コンプライアンスなど幅広い分野に及ぶ。</p> <p>企業における女性の管理職登用は、決して十分な数とは言えない。また女性は、同じ職場に長く勤務する傾向があり、ロールモデルと出会う機会に恵まれないことが多い。</p> <p>そのような中、女性の活躍を推進するためには、企業による女性の能力開発に対する積極的な取り組みが重要である。しかし、そのためには協議会の活動を通じ、女性社員も企業内に止まらず異業種と接し、様々なロールモデルと出会い、自分と真剣に向きあいながら、意識改革をしていく必要がある。</p> <p>当協議会は、今年度テーマに「日本ヒーブ協議会の原点再考」－生活者・行政・企業のさらなる「連携と協働」を目指して－を掲げており、「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」に参画し、上記意識を醸成する場として、「キャリアアップセミナー」を開催する。</p> <p>具体的内容として、第一部に今春シャープ株式会社初の女性役員となった先輩ヒーブを講師に迎え、キャリアアップのためのヒントをご自身の経験を踏まえて基調講演をいただくこととする。</p> <p>第二部では、女性の活躍を支える立場の皆様それぞれの取り組みについてパネルディスカッション形式でお話いただき、参加企業や参加者が今後どのように取り組むかを考える場の提供をする。</p> |
| 共催 | 内閣府 男女共同参画局 |
| 名称 | 「キャリアアップセミナー」 |
| 日時 | 平成 23 年 12 月 5 日（月） 13：30～18：45 |
| 場所 | アイビーホール 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 TEL03-3409-8181 |
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本ヒーブ協議会会員ならびに賛助企業 80人程度 ・一般市民、一般企業、会員の上司同僚等 100人程度 ・消費者関係団体 30人程度 |

| | |
|----------------|---|
| <p>内容（構成等）</p> | <p>◆第一部 基調講演【13：30～15：00】</p> <p><テーマ> 「生活者視点を経営戦略に活かすためには」（仮称）</p> <p><講師> シャープ株式会社 執行役員 オンリーワン商品・デザイン本部長 兼 ブランド戦略推進本部長 岡田 圭子 氏 （元日本ヒープ協議会 会員）</p> <p>シャープ株式会社創業以来の初の女性役員 岡田氏は多機能端末「ガラパゴス」や高温水蒸気で調理するオープンレンジ「ヘルシオ」など話題の商品開発を担当 1981年～2001年 日本ヒープ協議会会員 1988年 日本ヒープ協議会 第1回ベストヒープ賞を受賞</p> <p>◆第二部 パネルディスカッション【15：15～17：00】</p> <p><テーマ> 「女性が生き活きと仕事をするために」 —女性の活躍の場をつくる取組み事例から学ぶ—（仮称）</p> <p><パネリスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府 男女共同参画局 ご担当者様 ・日本ハム株式会社（日本ヒープ協議会 賛助会員企業） 人事部長 平井 邦治 氏 ・NPO 法人ファザーリング・ジャパン 代表 安藤 哲也 氏（内閣府「男女共同参画推進連携会議」委員） ・ライオン株式会社 生活者行動研究所 主任研究員 杉本 美穂（日本ヒープ協議会 会員） 平成23年度消費者支援功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰」受賞 <p><コーディネーター> NPO 法人 J-W i n 広報担当部長 山本 加津子（日本ヒープ協議会 特別会員）</p> <p>◆第三部 情報交換会 【17：15～18：45】</p> <p>一般市民・企業・行政・会員等、多くの皆様にご参加いただき、名刺交換ならびに情報交換の場を設けます。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> |
|----------------|---|